

## 第6回 「Bスタイル」プロジェクト協働会議のご案内

第6回協働会議を以下の要領で開催いたします。みなさまのご参加をお待ちしております。

テーマ：

### 仁淀川町の森林資源の利活用について考える

趣旨：

化石燃料や核エネルギーを代替するものとして、木質バイオマスの利活用が考えられます。この木質バイオマスの有力な候補のひとつとして、林業活動、すなわち、山中での伐出作業に伴って発生する「林地残材」があります。仁淀川町では、すでに、個人林家（自伐林家）を中心とする小規模方式が、成功を収めています。

今回の協働会議では、NPO法人土佐の森・救援隊の中嶋健造事務局長から、こうした森林資源（バイオマス）の利活用の現状について講演してもらうとともに、上名野川地区の自伐林家、片岡利一氏、博一氏から、自伐林業の現場をご紹介します。

一方、「林地残材」の小規模出荷者にとっては、運搬距離がネックになっています。そこで、廃校跡地などを利用した「木の駅」を設置することによって、効率的な運搬が実現できるだけでなく、この「木の駅」が、人とモノが集う「山の駅」へと発展する可能性があります。当会、井上光夫代表からは、用居地区における「木の駅」構想の概要について、提案します。

日時： 平成23年9月27日（火） 14時～16時

場所： 高知県吾川郡仁淀川町土居甲916-3 池川コミュニティーセンター 4階会議室

参加費： 無料（当日参加も可能です）

プログラム：

14:00 開会	開会の挨拶
(5分)	によど自然素材等活用研究会：井上光夫代表
14:05 講演	森林資源（バイオマス）利活用の現状
(50分)	NPO法人 土佐の森・救援隊：中嶋健造事務局長
14:55 休憩	
(10分)	
15:05 事例紹介	上名野川地区における自伐林業の実際
(15分)	上名野川の自伐林家：片岡利一氏、片岡博一氏
15:20 提案	用居地区における「木の駅」構想
(15分)	によど自然素材等活用研究会：井上光夫代表
15:35 質疑応答・意見交換	
(15分)	
15:50 総括	閉会の挨拶
(10分)	(独) 森林総合研究所四国支所：田内裕之プロジェクトリーダー
16:00 閉会	

お申し込み、お問い合わせは、

「Bスタイル」プロジェクト仁淀川町大崎事務所 担当：中山琢夫

(電話・ファックス：0889-35-0567、E-mail：info@2410style.jp)

または、によど自然素材等活用研究会代表：井上光夫（携帯電話：090-8696-7707）までお願いします。